

会議等名	令和3年第1回海老名市外部評価委員会
日時	令和3年7月14日(水) 10:30～12:00
場所	海老名市役所 6階 全員協議会室
出席者	外部評価委員：大島委員長、城向副委員長、谷村副委員長、山田委員、長谷川委員、菅生委員、田中委員、西海委員、阿部委員、石井委員、石川委員、井上委員(以上12名出席) 事務局 井上企画財政課長、尾内主幹兼政策経営係長、草野
<p>1 開会 尾内主幹兼政策経営係長</p> <p>2 あいさつ 井上企画財政課長あいさつ後、大島委員長よりあいさつ</p> <p>3 議題 (1) 新たな行政(内部外部)評価の実施方法について 【事務局から、資料に基づき説明】 ○ 「新たな行政(内部外部)評価の実施方法について」の概要説明 ○ 令和3年3月に委員へ照会を行い、各委員より様々なご意見をいただいたところであるが、概ね賛成の意見をいただいたため、今年度は事務局案のとおり実施したい旨を説明。 【委員より意見】 ○ 資料2ページ目について、事務事業評価より、施策評価を重点的に行う認識でよいか。 → 認識のとおりである。 ○ 評価する事業数を減らすということは、評価されない事業が発生することになるが、どのようにフォローを行っていくか。 → 評価されない事業については、中間評価等で調整していけたらと考えている。政策の目標の中心となる事業や、市民の方々に関心が高い事業を選ぶようにすることで、政策評価につなげてけるように今年度は評価対象事業を選定させていただいた。 ○ 事業数を選定してしまうと評価資料が減るため、施策評価を重点的に行うことができないのではないかと考えてしまう。前回の外部評価で、特に施策評価が難しかったので、視点や評価の仕方について整理していただきたい。 → 実際の評価作業について、内部評価等でどのような視点で評価をしていたか提示していきたいと考えているので、まずは資料のとおり進めさせていただきたい。</p>	

○ 外部評価委員を4年間行ってきたが、こちらの意見に対し、事務局はいつも「見直す」と回答するが未だ反映されたことがなく、これではモチベーションも上がらない。一昨年くらいから新しい評価に向け、運営方法や調書の見直し等を考えていく動きもあったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今年も例年のように事務局から一方的に提示をされたもので作業することになってしまった。今後は、事務局の意識を変えていただきたい。

→ 新年度からメンバーが大きく変わり、過去の状況について認識不足になっていたことを大変申し訳なく思う。本来であれば、3月に照会させていただいた意見をもとに協議を重ねていくべきであったと思うが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、調整していく作業が厳しい現状があった。委員の皆様にはご迷惑をおかけし申し訳ないが、今年度はこの方法で対応していただきたい。

ただしこれで終わりとはせず、評価実施後、改めて委員の皆様から評価方法のフィードバックをいただき、見直していければと考えている。

○ 今まで積み重なった我々の意見を改めて考えていただき、次年度の評価方法のために改善し、示さなければいけないというような意識をお願いしたい。

→ 20プランによる行政評価が初めてスタートし、我々もどのように行っていくべきか手探りの中やってきたところである。については、担当部課評価や内部評価の評価視点を示させていただくことにより、外部委員の皆様には評価を行っていただきたいと考えている。

報告会が終了した後にフィードバックをしていくためにも、翌年度の取組について会議する場を設けたいと考えているので、今回については提示させていただいたとおりに行っていきたい。

○ 政策に含まれる事業一覧が分からないと、事務事業評価と政策評価の関連性が見えないため、提示していただきたい。

→ 承知した。

## (2) 令和3年度外部評価作業について

### 【事務局から、資料に基づき説明】

○ 令和3年度外部評価についての概要説明

○ ヒアリングについて、今年度は書面開催である旨を連絡

### 【委員より意見】

○ ヒアリング事項の回答を行うにあたり、調書等の読み込みが必要であるが、調書等の様式が変わっているため、時間がかかるかと思う。期限が7月20日は短いのではないか。

→ スケジュールを逆算すると、担当課からの回答期間が必要であるため、このような期限にさせていただいた。

当初は対面方式でのヒアリングを想定していたところだが、現在、全庁で新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を課題として最重要で対応しており、職員ほぼ全員が動員等の対応を行っているため、今回書面開催で事務局からご提案させていただいた。1回目のグループワークの日程次第では、期限を遅らせることも可能である。

- 回答様式の項目にない部分の質問はどこに回答すればよいか  
→ 「その他ご意見」の項目にご記入をいただきたい。
- 各グループで全事業を評価した場合、それぞれ視点が違うかと思うので、調整が難しいのではないかと。  
→ おっしゃるとおりであるが、それぞれ視点が違う評価をしていただくことで、外部評価の意見がより深いものになると想定し、このように取り決めさせていただいた。調整が難航する箇所もあるかと思うが、事務局での取りまとめ作業に力を入れて行いたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。
- ヒアリング事項の回答は委員全員に共有していただきたい。  
→ 承知した。
- ヒアリング事項が重複した場合の対応は。  
→ いただいたヒアリング事項は事務局で調整させていただき、各担当課へ照会する予定。

#### 4 閉 会

尾内主幹兼政策経営係長

※委員会終了後、各グループでグループ作業の日程調整を行った。結果は以下のとおり。

- |        |        |          |             |
|--------|--------|----------|-------------|
| A グループ | 1回目：日時 | 8月5日（木）  | 13：00～15：00 |
|        | 会場     | 701会議室   |             |
|        | 2回目：日時 | 8月19日（木） | 13：00～15：00 |
|        | 会場     | 705会議室   |             |
| B グループ | 1回目：日時 | 8月3日（火）  | 10：00～12：00 |
|        | 会場     | 704会議室   |             |
|        | 2回目：日時 | 8月17日（火） | 13：00～17：00 |
|        | 会場     | 政策審議室    |             |

以 上